

授業科目 生物学の世界

【担当教員名】 濱口 順子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GI0】
 生物のからだは「細胞」を単位としてできあがっている事、たった1つの受精卵から生命が始まること、など学習を通じて知っていることと、私たちの日常の活動を結びつけて考えられるようになることを目標に学ぶ。食事を摂り・息をして・心臓が動き続けていることは私たちの生命を維持するために必須であるが、それと「細胞の生命」との関係を理解できるように、生物全体に共通する原理を学ぶ。そして「一生物種としてのヒト」の生命活動を理解して、「いのち」についての視野をさらに広げる。

【学習目標・行動目標：SBO】
 生命現象は細胞を単位に進行することを理解する。さらに細胞は物質から形成され、細胞膜で区切られた空間を保持することで生命が維持されていることを理解する。また、細胞が分裂することで個体の発生や形態形成・個体の維持、生殖や世代交代・遺伝などの生物学的現象が実現していることを理解できるようになる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	全生物に共通する特質と生物の多様性		
2	生命の単位：細胞 1		
3	" : 細胞 2		
4	細胞という空間を考える		
5	細胞内で遺伝子は何をしているか		
6	DNAと遺伝子		ワークシート 1 配布予定
7	なぜ子供は親に似るのか		
8	突然変異とは？		
9	細胞分裂1：2タイプの細胞分裂を理解する		
10	細胞分裂2：生殖・発生・遺伝との関係		ワークシート 2 配布予定
11	動物のからだ：組織・器官・器官系		
12	各器官系の働きあい		
13	エネルギー代謝と摂食・呼吸		
14	エネルギー代謝と個体の生命維持		
15	期末試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	「ダイナミックワイド図説生物」	石川統ら監修	東京書籍	2009・880円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 授業中のワークシートの提出と期末試験の得点により総合的に評価します。ワークシートを30%、期末試験70%の割合で採点します。	【履修上の留意点】 配布プリントを中心に図録の写真や図などを参照しながら授業を進行します。内容の理解のためには「毎回の出席」と「各自のノート作成」が必要であるため、授業時間にはプリントとノートをファイルしたものと図録を必ず持参して下さい。
--	--